【事業番号

241]

事業名:公共街路灯新設更新等事業

土木事務所道路管理課 維持係

政 策 04 安全・安心	戦略
取組の 21 安全な暮らしの確保	具体的施策
開始年度 昭和42年度 終了年度 —	区分1 継続 区分2 補助 補助金

事務事業の目的と成果及び指標

対象(誰、何に対して事業を行うのか)

公共街路灯(道路照明灯) (令和3年度より指標を幹線道路延長から公共街路灯基数に変更)

	指標名	単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
対象指標1	公共街路灯基数	基	99	3, 470	3, 476	3, 476
対象指標2	更新が必要な基数	基	0	39	39	40

手段(事務事業の内容、手法)

定期的な点検の結果に基づき、損傷度などを踏まえ更新する。 社会資本整備総合交付金を活用し実施する。(補助率6/10)

指標名	単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
活動指標 1 更新基数	基	27	39	39	40
活動指標 2					

意図(この事業によって対象をどのような状態にしたいのか)

公共街路灯の更新により、その機能の維持・向上と夜間における道路環境の向上が図られる。

	指標名	単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
成果指標 1	更新が完了した街路灯の割合	%	3, 470	100	100	100
成果指標2						

事業費の推移	単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
事 業 費 (A)	千円	72, 523	34, 880	39, 362	40, 000
正職員人件費(B)	千円	3, 052	1, 521	2, 281	2, 305
総 事 業 費 (A+B)	千円	75, 575	36, 401	41, 643	42, 305

	事業内容(主なもの)	費用内訳(主なもの)
	点検結果に基づき公共街路灯の更新工事を実施。 (令和3年度補正予算を繰越のうえ令和4年度に実施)	(R3補正繰越) 工事費 39,362千円
4年度		

事業開始背景 街路灯の老朽化に伴う更新のため事業が開始された。 事業を取り巻く環境変化 道路法第2条第2項に規定される道路附属物として一元的な管理を行うため、平成26年度より土木事務所道路管 理課に事務を移管した。 令和 4年度の実績による担当課の評価(令和 5年度7月時点) (1) 計画どおりに成果指標は上がっていますか?成果指標が上がっている理由、上がっていない理由は何ですか? 平成25~26年度に実施した道路照明設備点検の結果に基づき、これ まで計画的に公共街路灯の更新を実施してきたもの。 令和2年度には2巡目の点検を行い、当該点検結果に基づき、今後も計 成 **炒果動向** 画的に公共街路灯の更新を実施していく。 上がっている 及び 理由 どちらかといえば上がっている 根拠 原因分析 上がっていない (2) 成果指標が向上する余地(可能性)はありますか?その理由は何ですか? これまで国の社会資本整備総合交付金を活用し事業を実施してきており 、概ね計画に沿って事業が進捗しているため。 成 果 成果向上余地 大 向 理由 £ 成果向上余地 中 根拠 余 成果向上余地 小 地 (3) 成果指標を落とさずに、コスト (予算や所要時間) を削減する方法はありませんか? これまで国の社会資本整備総合交付金を活用し事業を実施してきており 、これ以上のコスト削減は難しい。 ある ス 理由 根拠 なし

事業名:空家等対策推進事業

【事業番号 6

6244]

建築指導課

政 策 04 安全・安心	戦略
取組の 201 安全な暮らしの確保	具体的施策
開始年度 平成30年度 終了年度 —	区分1 継続 区分2 補助 補助金 政策的補助

事務事業の目的と成果及び指標

対象(誰、何に対して事業を行うのか)

市内全域の空き家

	指標名	単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
対象指標 1	市内全域の空き家(推計)	棟	300	300	300	300
対象指標2						

手段(事務事業の内容、手法)

空き家等がもたらす課題の解消に向け、空家等対策計画に基づき、所有者等の管理意識の醸成と関係団体との連携による発生抑制及び利活用の推進を図るとともに、空き家等対策の情報発信や相談体制の整備を行うほか、「江別市特定空家等解体補助金交付要綱」に基づき、特定空家等の除却・解体支援を行う。

	指標名	単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
活動指標 1	空き家に関する相談・指導件数	件	94	168	152	120
活動指標 2						

意図(この事業によって対象をどのような状態にしたいのか)

危険空き家等への対応及び空き家等の利活用により、安全で安心な住環境を確保する。

	指標名	単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
成果指標 1	管理不全な空き家の解消件数	件	9	12	24	20
成果指標2						

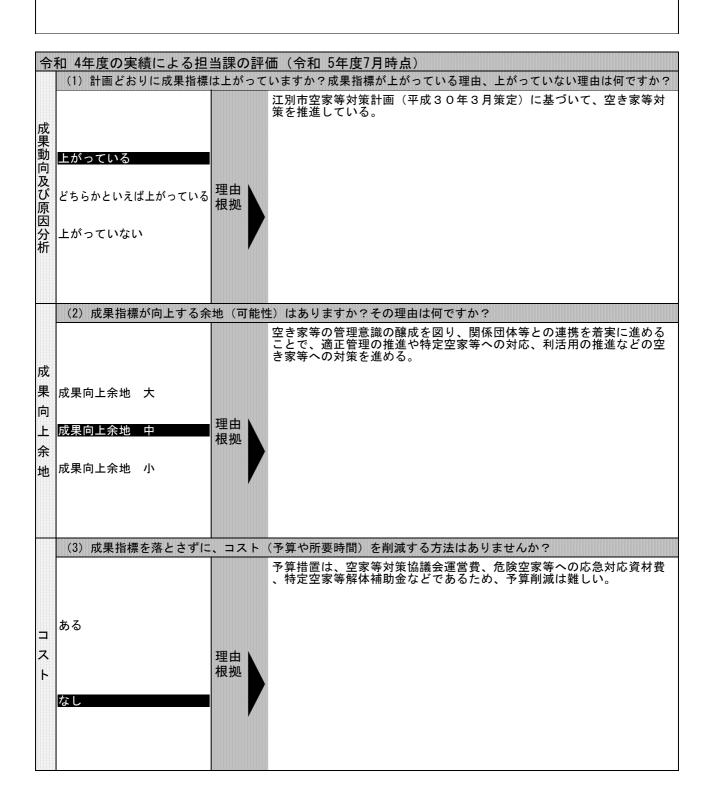
事業費の推移	単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
事 業 費 (A)	千円	3	135	176	1, 845
正職員人件費(B)	千円	14, 495	13, 693	16, 729	13, 061
総 事 業 費 (A+B)	千円	14, 498	13, 828	16, 905	14, 906

	事業内容(主なもの)	費用内訳(主なもの)
4年度	・空家等対策協議会の開催 ・啓発パンフレットの作成等 ・危険空家等への応急対応 ・特定空家等の除却・解体支援	・空家等対策協議会運営費:117千円 ・啓発パンフレット作成経費等:10千円 ・危険空家等への応急対応資材費:49千円

空き家等がもたらす課題の解消に向け、空家等対策計画に基づき、発生抑制・適正管理の推進、特定空家等への対応、利活用の推進などの空き家等対策を総合的かつ計画的に実施する

事業を取り巻く環境変化

近年、人口減少や少子高齢化による家族構成の変化、住宅ストックの余剰等の社会情勢の変化等により、全国的に 空家等が年々増加している。



事業名:河川等維持事業

【事業番号

284

土木事務所治水課

政 策 04 安全・安心	戦略
取組の 基本方針 02 地域防災力の向上	具体的施策
開始年度 昭和57年度 終了年度 —	区分1 継続 区分2 単独 補助金

事務事業の目的と成果及び指標

対象(誰、何に対して事業を行うのか)

江別市が管理する河川、調整池及び集水路

	指標名	単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
対象指標 1	準用河川及び普通河川数	河川	25	25	25	25
対象指標2	調整池数	ヶ所	27	27	27	27

手段(事務事業の内容、手法)

- 1 床ざらい工事 2 調整池フェンス設置工事 3 移動式ポンプ購入

	指標名	単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
活動指標 1	河川・調整池の不良箇所数	箇所	8	7	8	9
活動指標 2	巡回日数	日	0	0	120	120

意図(この事業によって対象をどのような状態にしたいのか)

- 1 水害を軽減させる治水対策 2 危険個所を解消する 3 冠水箇所のポンプ排水を行う

	指標名	単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
成果指標 1	河川・調整池の補修工事数	箇所	8	7	8	9
成果指標2						

事業費の推移	単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
事 業 費 (A)	千円	9, 805	29, 968	23, 309	66, 768
正職員人件費(B)	千円	7, 629	7, 607	7, 604	7, 683
総 事 業 費 (A+B)	千円	17, 434	37, 575	30, 913	74, 451

	事業内容(主なもの)	費用内訳(主なもの)
4年度	・床ざらい工事(明野川、豊幌川、屯田川、機農川、 上江別川、中樹林集水路) ・調整池フェンス設置工事(上江別2号調整池) ・緊急護岸補修工事(元野幌川) ・移動式ポンプ購入(1台)	 ・床ざらい工事 19,151千円 ・調整池フェンス設置工事 2,463千円 ・緊急護岸補修工事 1,286千円 ・移動式ポンプ購入(備荒資金) 1千円

事業開始背景 床ざらい等により流下能力を確保し、河川等の氾濫を防ぐ。 事業を取り巻く環境変化 近年、全国的に予測不能かつ集中豪雨が発生しており、より適切な河川管理が求められている。 令和 4年度の実績による担当課の評価(令和 5年度7月時点) (1) 計画どおりに成果指標は上がっていますか?成果指標が上がっている理由、上がっていない理由は何ですか? 概ね予定どおり進捗している。 成果動向及び原因分析 上がっている 理由 どちらかといえば上がっている 根拠 上がっていない (2) 成果指標が向上する余地 (可能性) はありますか?その理由は何ですか? 令和2年度から新設された緊急浚渫事業債を活用することにより、成果 向上余地は大きい。 成 成果向上余地 大 向 理由 上 成果向上余地 中 根拠 余 成果向上余地 小 地 (3) 成果指標を落とさずに、コスト (予算や所要時間) を削減する方法はありませんか? 近年、労務単価や物価が上昇している傾向であり、コスト削減させて成果向上は見込めない。 また、既に緊急浚渫事業債を活用しており、これ以上一般財源を抑える ことは困難。 ある ス 理由 根拠 ۲ なし

【事業番号

290]

事業名:排水機場維持管理事業

土木事務所治水課

政策	04	安全・安心	戦略					
取 組 の 基本方針	02	地域防災力の向上	具体的施策					
開始年度		— 終了年度	— 区分1	継続	区分2	補助	補助金	
事務事業	の	目的と成果及び指標						

対象(誰、何に対して事業を行うのか)

排水機場

指標名		単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
対象指標 1	排水機場数	箇所	18	18	18	18
対象指標2						

手段(事務事業の内容、手法)

定期的に点検・整備・巡回を実施し、施設を健全に維持し、大雨時の緊急運転に備える。

	指標名	単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
活動指標 1	維持管理経費	千円	65, 795	67, 543	73, 162	75, 547
活動指標 2	施設巡回・点検回数	回	9	9	9	9

意図(この事業によって対象をどのような状態にしたいのか)

水害を軽減させる治水対策

指標名		単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
成果指標 1	不具合件数	件	0	0	0	0
成果指標2						

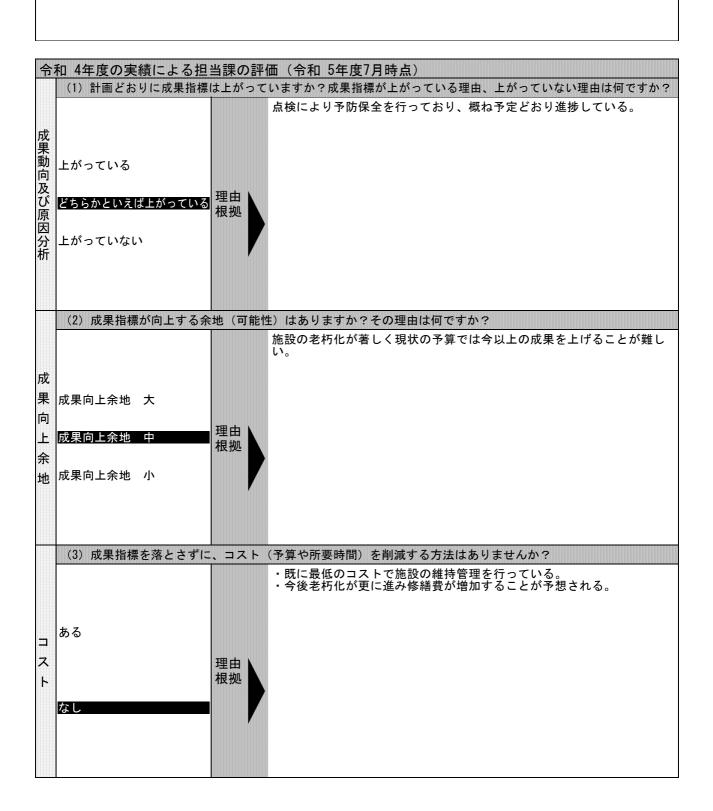
事業費の推移	単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
事業費(A)	千円	65, 795	67, 543	73, 162	75, 547
正職員人件費(B)	千円	6, 103	6, 086	6, 083	6, 146
総 事 業 費 (A+B)	千円	71, 898	73, 629	79, 245	81, 693

	事	業内容	(主なもの)			費用内訳	(主なもの)
4年度	市内排水機場(1 水運転	8機場)	の点検整備、	維持修繕、	排	市内排水機場管理委託 緊急運転費 光熱水費 施設等修繕費	58,080千円 3,989千円 5,113千円 2,472千円

大雨時に要する内水排除施設(排水機場)の維持管理。

事業を取り巻く環境変化

近年、全国的に予測不能かつ集中豪雨が発生しており、適切な内水排除施設(排水機場)の維持管理が求められているが、老朽化による修繕費の増大が見込まれている。



【事業番号

302]

事業名: 江別河川防災ステーション管理経費 _{土木事務所治水課}

政策()4 安全・安心)		戦略					
取 組 の 基本方針)2 地域防災力	の向上		具体的施	策				
開始年度	平成14年度	終了年度	_	区分1	継続	区分2	補助	補助金	

事務事業の目的と成果及び指標

対象(誰、何に対して事業を行うのか)

江別河川防災ステーション

	指標名	単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
対象指標 1	施設数	施設	1	1	1	1
対象指標2						

手段(事務事業の内容、手法)

江別河川防災ステーションの維持・管理を行う。

	指標名	単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
活動指標 1	開設日数	日	307	308	308	309
活動指標2						

意図(この事業によって対象をどのような状態にしたいのか)

- 1 災害時の拠点として利用する。 2 水防訓練や災害の学習の場として利用する。 3 地域の交流の場として快適な空間を提供する。

	指標名	単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
成果指標 1	保全施設数	施設	1	1	1	1
成果指標2	利用者数	人	74, 405	76, 872	105, 738	76, 000

事業費の推移	単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
事 業 費 (A)	千円	21, 759	22, 813	24, 215	27, 611
正職員人件費(B)	千円	4, 577	4, 564	4, 562	4, 610
総 事 業 費 (A+B)	千円	26, 336	27, 377	28, 777	32, 221

	事業内容(主なもの)	費用内訳(主なもの)
4年度	江別河川防災ステーションの維持管理	館内管理業務 15,840千円 光熱水費 5,090千円 施設等修繕費 1,286千円

水防活動の拠点及び平時には防災意識向上を目的として建設した。

事業を取り巻く環境変化

平成16年度から各種イベントが開催され平時の利活用が進んでいる。 令和2年度からは、コロナ禍により一部のイベントを除き館内(会議室)の利用を控えている。 令和4年度は、初めて来客者数が10万人を突破した。

令和 4年度の実績による担当課の評価(令和 5年度7月時点) (1) 計画どおりに成果指標は上がっていますか?成果指標が上がっている理由、上がっていない理由は何ですか? 展示物(上川丸のレプリカ)が漫画に掲載されたこと等もあり、その見 物のため来客者数が初めて10万人を突破した。 成 **炒果動向** 上がっている 及び 理由 どちらかといえば上がっている 根拠 原因分析 上がっていない (2) 成果指標が向上する余地(可能性)はありますか?その理由は何ですか? コロナウイルス感染症が落ち着いてきていることから、若干ではあるが 来客数は上昇する見込みではある。 成 成果向上余地 大 向 理由 £ 成果向上余地 中 根拠 余 成果向上余地 小 地 (3) 成果指標を落とさずに、コスト (予算や所要時間) を削減する方法はありませんか? ・既に最低限のコストで施設運営している。 ・施設の老朽化が進んでいることから、今後、修繕費が増加することが 予想される。 ある ス 理由 根拠 なし

【事業番号

929]

事業名: 耐震化推進支援事業

建築指導課

政 策 04 安全・安心	戦略
取組の 基本方針 02 地域防災力の向上	具体的施策
開始年度 平成22年度 終了年度 —	区分1 継続 区分2 補助 補助金 政策的補助

事務事業の目的と成果及び指標

対象(誰、何に対して事業を行うのか)

江別市耐震改修促進計画に基づく民間住宅の所有者及び、居住者又は居住予定者

	指標名	単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
対象指標 1	対象建築物数	戸	4, 656	4, 656	420	420
対象指標2						

手段(事務事業の内容、手法)

同計画に基づき耐震化を促進するために木造住宅等の無料簡易耐震診断を実施する他、「江別市木造住宅耐震改修等補助金交付要綱」により専門家が行う耐震診断、補強設計及び耐震改修工事の費用の一部を補助する。補助対象:昭和56年5月31日以前に着工された木造戸建て住宅等。補助率:耐震診断=3分の2(上限8万9千円)、補強設計=3分の2(上限10万円)、耐震改修=23%(上限82万2千円)。

	指標名	単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
活動指標 1	補助金額	千円	0	0	79	2, 289
活動指標 2	無料耐震診断を行った件数	件	1	2	2	5

意図(この事業によって対象をどのような状態にしたいのか)

現行の耐震基準に満たない既存建築物の耐震性能の向上を図り、地震による建築物の倒壊被害から市民の生命及び財産に対する被害を未然に防止する。

	指標名	単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
成果指標 1	補助利用率	%	0	0	3. 45	100
成果指標2	補助金を受けた件数	件	0	0	2	9

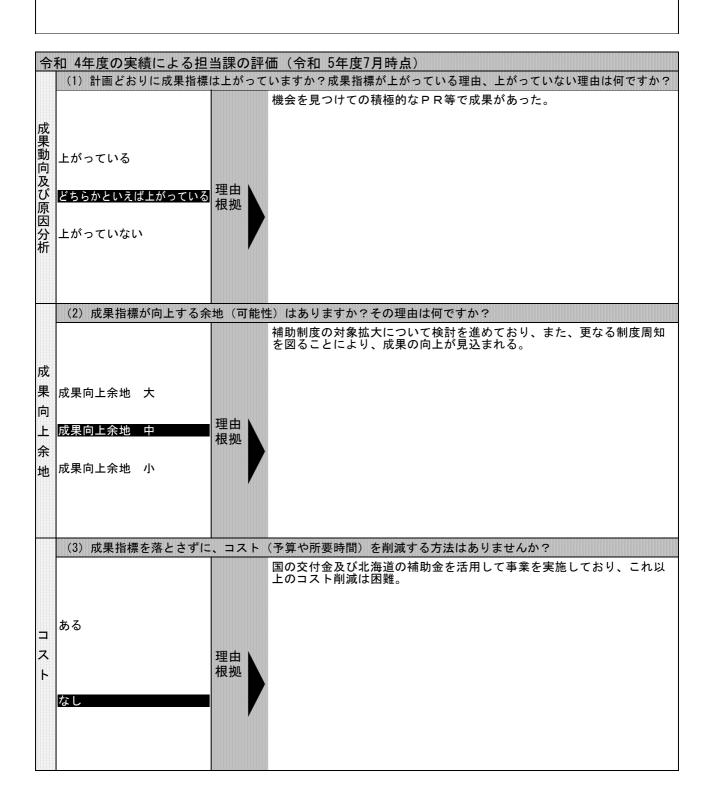
事業費の推移	単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
事 業 費 (A)	千円	17	4	83	2, 308
正職員人件費(B)	千円	18, 310	8, 368	10, 646	7, 683
総 事 業 費 (A+B)	千円	18, 327	8, 372	10, 729	9, 991

	事業内容(主なもの)	費用内訳(主なもの)
• 1	無料簡易耐震診断 専門家が行う耐震耐震診断及び補強設計への補助 耐震化支援制度のPR	・耐震診断・耐震補強への補助 79千円 ・新規耐震パンフレットの製作・印刷 4千円

江別市耐震改修促進計画に基づき、建築物の耐震化を促進するため、対象市民を支援する。

事業を取り巻く環境変化

令和4年2月に第3次江別市耐震改修促進計画を策定し、老朽化した建築物の建替・除却等の促進などの新たな施 策を位置づけた。



【事業番号

229]

事業名:新栄団地建替事業

建築住宅課 住宅係

政 策 0	5 都市基盤			戦 略					
取組の 基本方針 0	1 市街地整備	の推進		具体的施筑	ŧ				
開始年度	平成22年度	終了年度	_	区分1	継続	区分2	補助	補助金	

事務事業の目的と成果及び指標

対象(誰、何に対して事業を行うのか)

市営住宅(新栄団地、野幌団地及びあけぼの団地の一部)

	指標名	単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
対象指標 1	市営住宅管理戸数	戸	268	281	277	308
対象指標2						

手段(事務事業の内容、手法)

新栄団地、野幌団地及びあけぼの団地の一部を新栄団地に建替・集約する。 新栄団地建替の設計、工事、既存住宅の用途廃止等を実施する。 R2~R3 E棟建設 , R4~R5 F棟建設

	指標名	単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
活動指標 1	建設戸数	戸	0	49	0	49
活動指標 2	除却戸数	戸	72	0	0	0

意図(この事業によって対象をどのような状態にしたいのか)

老朽化し、狭隘な住宅を建て替えることにより、入居者が安全に安心して暮らせるようにする。

	指標名	単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
成果指標1	団地改善率	%	71. 6	85. 8	87	94. 2
成果指標2						

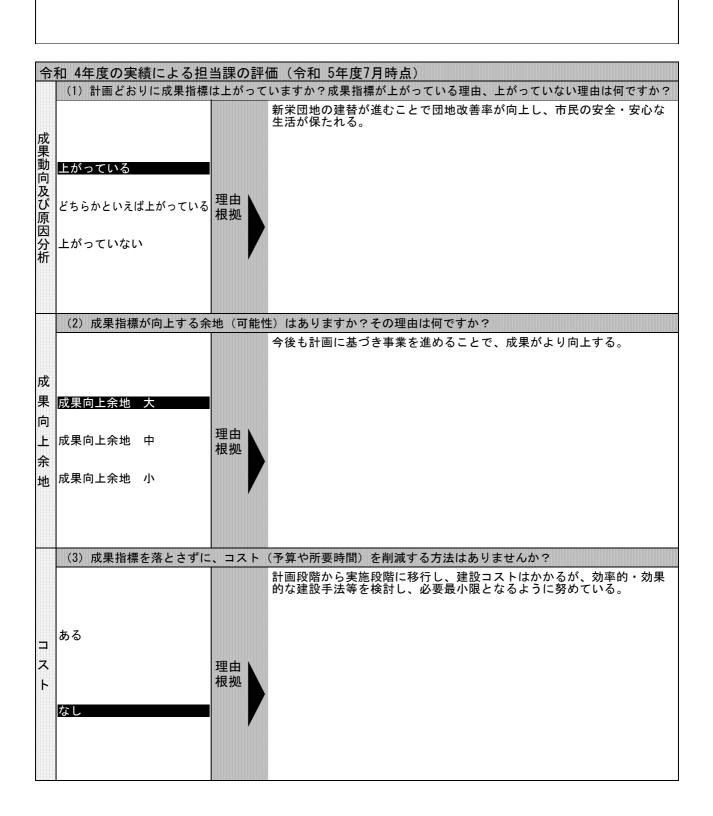
事業費の推移	単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
事業費(A)	千円	466, 341	924, 984	369, 639	994, 481
正職員人件費(B)	千円	6, 866	7, 607	7, 604	7, 683
総 事 業 費 (A+B)	千円	473, 207	932, 591	377, 243	1, 002, 164

	事業内容	(主なもの)	費用内訳	(主なもの)
	·新栄団地 F 棟建設工事	(建築工事・各種工事)	・新栄団地F棟建設工事	369, 639千円
4年度				

良質な市営住宅供給を図るため「江別市営住宅長寿命化計画」を策定し、市営住宅の建替事業を推進することとした。

事業を取り巻く環境変化

計画通りに市営住宅の建替事業を実施している。



事業名:公園管理事業

【事業番号

314]

都市建設課 公園係

政 策 05	都市基盤	戦略
取組の 基本方針 01	市街地整備の推進	具体的施策
開始年度	— 終了年度 —	区分1 継続 区分2 補助 補助金

事務事業の目的と成果及び指標

対象(誰、何に対して事業を行うのか)

市が管理する都市公園

	指標名	単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
対象指標 1	市が管理する都市公園数	箇所	232	232	231	231
対象指標2						

手段(事務事業の内容、手法)

- ・施設の維持管理及び管理運営を指定管理者に委任する。 ・公園施設長寿命化計画に基づき、遊具等の改築を国の補助を受けて実施する。(補助率:1/2)

	指標名	単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
活動指標 1	指定管理料(R2・R3予算は市管理経費を含む)	千円	172, 943	183, 026	180, 485	183, 659
活動指標 2	改築遊具・施設数	施設	7	14	35	22

意図(この事業によって対象をどのような状態にしたいのか)

施設の維持管理・管理運営を適切かつ効率的に行い、市民が快適で安全に憩える公園とする。

	指標名	単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
成果指標1	自主事業件数(指定管理者)	件	5	4	9	9
成果指標2	累計改築遊具・施設数	施設	26	40	75	97

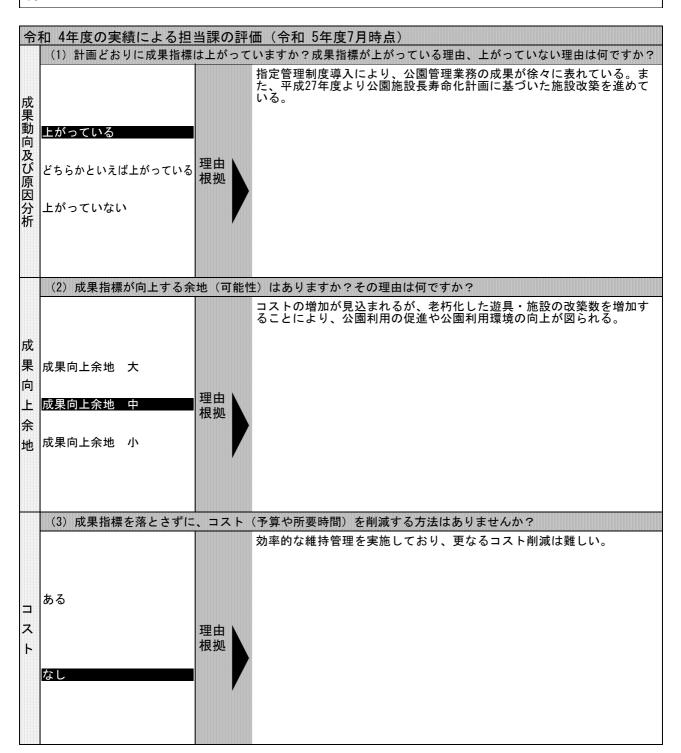
事業費の推移	単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
事 業 費 (A)	千円	374, 062	377, 991	435, 777	464, 343
正職員人件費(B)	千円	24, 032	29, 668	29, 656	29, 964
総 事 業 費 (A+B)	千円	398, 094	407, 659	465, 433	494, 307

	事業内容(主なもの)	費用内訳(主なもの)
4年度	・指定管理者による管理運営 ・公園施設長寿命化計画に基づく遊具等の改築及び修 繕 ・アダプトプログラム ・樹木管理(剪定、伐採等)	• 指定管理料 180,485 千円 • 改築関係工事費 180,597 千円 • 維持補修関係工事費 9,999 千円 • 維持補修関係委託料 18,996 千円

市が管理する都市公園の維持管理業務については、平成20年度より指定管理者制度を導入し、市民サービスの向上や管理経費の縮減を図っている。

事業を取り巻く環境変化

- ・市及び指定管理者は公園施設の安全対策を重点的に行っているが、その反面、公園管理に関する市民要望は年々多様化してきている。厳しい財政状況の下、市民のニーズに応えることが難しい状況となっている。・遊具等の公園施設の改築・更新については、国の補助事業を導入し、公園施設長寿命化計画に基づいた施設改築を実施している。・遊具改築における新規遊具の選考において、近隣小学校へのアンケート調査を実施し、利用者のニーズを踏まえた改築を実施してい
- る。 ・遊具修繕に伴い使用禁止となる遊具については、修繕完了予定時期を明示するなど、利用者への修繕スケジュール周知を実施している。



【事業番号

315]

事業名:市民参加による公園づくり事業

都市建設課 公園係

政 策 05 都市	5基盤	戦略
取組の 基本方針 01 市街		具体的施策
開始年度 平成1	5年度 終了年度 —	区分1 継続 区分2 補助 補助金

事務事業の目的と成果及び指標

対象(誰、何に対して事業を行うのか)

市が管理する都市公園

	指標名	単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
対象指標 1	市が管理する都市公園数	箇所	232	232	231	231
対象指標2						

手段(事務事業の内容、手法)

- ・公園施設長寿命化計画に基づき、公園の再整備を国の補助を受けて実施する。 (補助率:1/2)・整備内容については地域の子ども達や自治会の参加によるワークショップ会議により計画する。

	指標名	単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
活動指標 1	再整備公園数	箇所	1	1	1	1
活動指標 2						

意図(この事業によって対象をどのような状態にしたいのか)

- ・市民協働のシンボルとして地域に親しまれる公園にする。・公園再整備に併せて、公園施設のバリアフリー化を図ることで、誰もが利用しやすい公園にする。

	指標名	単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
成果指標 1	累計再整備公園数	箇所	17	18	19	20
成果指標2						

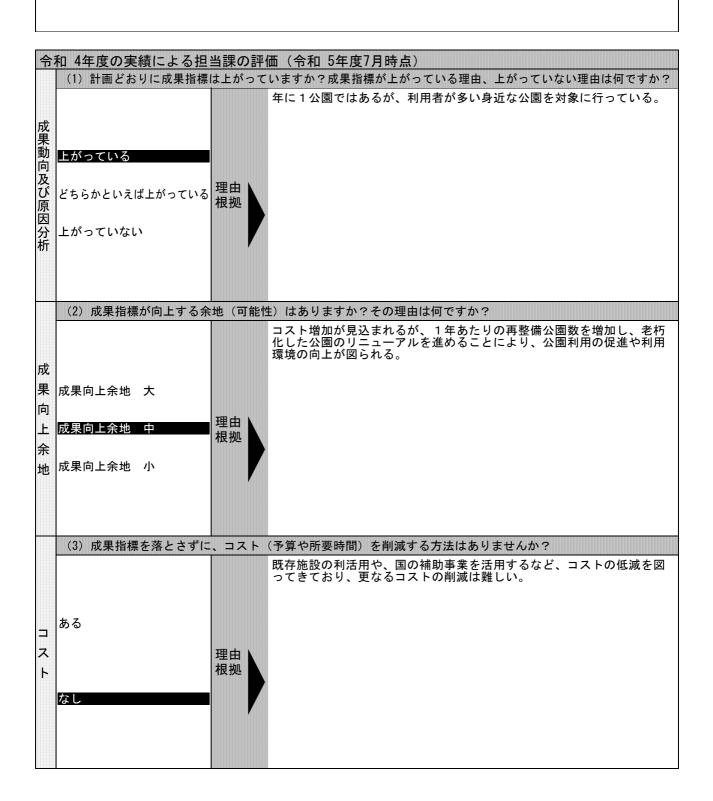
事業費の推移	単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
事業費(A)	千円	44, 851	49, 298	53, 718	66, 861
正職員人件費(B)	千円	6, 103	7, 607	7, 604	7, 683
総 事 業 費 (A+B)	千円	50, 954	56, 905	61, 322	74, 544

	事業内容(主なもの)	費用内訳(主なもの)
4年度	・つばき公園再整備工事(あけぼの町) 面積 : 約0.28ha 内容 : 遊具更新、バリアフリー化等 ・公園再整備に向けたワークショップ開催	・整備工事費 47,301 千円 ・一般委託料 6,399 千円

- ・地域からの修繕要望が高く、通常の維持管理だけでは対応できない身近な公園を対象として、平成2年度から「子供たちが参加できる公園づくり事業」として、事業着手した。 ・平成15年度から「市民参加による公園づくり事業」として、事業を継続中である。

事業を取り巻く環境変化

当初は市単独費により事業を実施していたが、平成25年度に策定した「公園施設長寿命化計画」に基づき、平成26年度より、社会資本整備総合交付金「都市公園安全・安心対策事業」にて国の補助を受けて実施している。



【事業番号

323]

事業名: 町名板再整備事業

開発指導課 開発指導係

政策	05 都市基盤			戦略					
取 組 の 基本方針	01 市街地整備	の推進		具体的施筑					
開始年度	平成10年度	終了年度	_	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

事務事業の目的と成果及び指標

対象(誰、何に対して事業を行うのか)

- ・市民 ・来訪者

	指標名	単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
対象指標 1	市民	7	119, 883	119, 777	119, 333	119, 333
対象指標2						

手段(事務事業の内容、手法)

- 1. 市街化区域内の角地や町名界にある建物に所有者の同意を得た後、街区型町名板を貼付 2. 江別の顔づくり事業により、新たに整備された交差点に信号機型町名板を整備

	指標名	単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
活動指標 1	街区型町名板整備数	枚	71	44	89	85
活動指標 2	信号機型町名板整備数	ヶ所	1	1	2	2

意図(この事業によって対象をどのような状態にしたいのか)

市民及び市内来訪者等に町名や地番をわかりやすい状態にする

指標名		単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
成果指標 1	所在確認の問い合わせ件数	件	0	0	0	2
成果指標2						

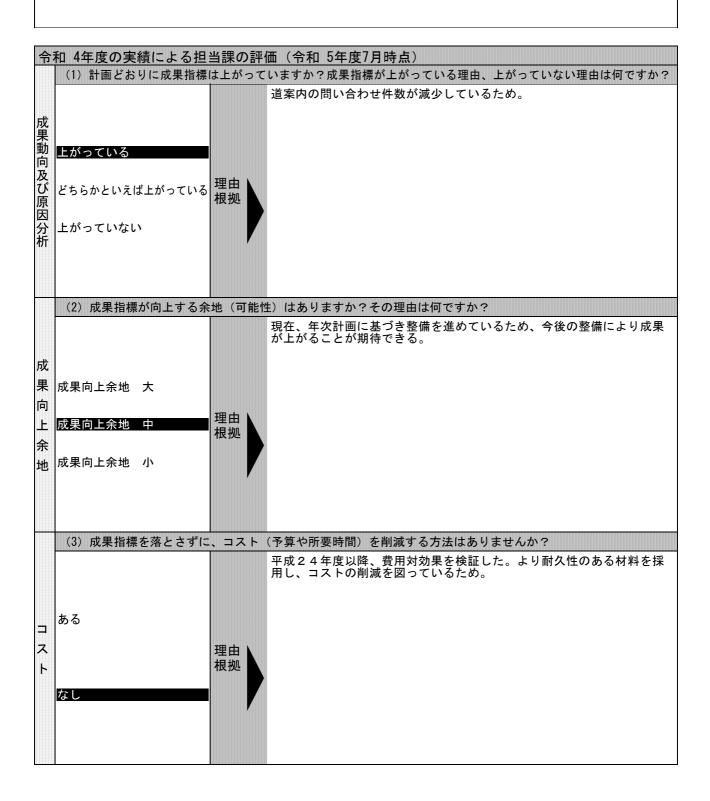
事業費の推移	単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
事業費(A)	千円	1, 021	963	1, 878	1, 839
正職員人件費(B)	千円	5, 340	5, 325	5, 323	5, 378
総 事 業 費 (A+B)	千円	6, 361	6, 288	7, 201	7, 217

	事業内容(主なもの)	費用内訳(主なもの)
4年度	1. 街区町名板 ~住民及び来訪者の利便性を図る ・市民要望による街区町名板の貼付 ・未貼付箇所等現況調査及び意向確認、貼付 2. 信号機型町名板 ~住民及び来訪者の利便性を図る ・信号機型町名板の整備	·街区町名板整備費 382千円 ·信号機型町名板整備費 1,496千円

町名板の老朽化が著しく、市民や来訪者の利便性の向上を図る必要が生じたため。

事業を取り巻く環境変化

信号機型町名板の整備は計画通り進み、現在、整備は完了した。しかし、信号機型町名板の設置から相当期間が経過したものがあるため点検を行い、道路利用者の安全を確保する必要が生じた。 なお、今年度は江別の顔づくり事業関連より、必要となった交差点の信号機に信号機型町名板を整備するため、信号機型町名板等点検は実施しない。



事業名: 団地集会所維持管理経費

【事業番号 5139】

建築住宅課 住宅係

政 策 05	都市基盤	戦略
取組の 基本方針 01	市街地整備の推進	具体的施策
開始年度	— 終了年度 —	区分1 継続 区分2 単独 補助金

事務事業の目的と成果及び指標

対象(誰、何に対して事業を行うのか)

団地集会所

	指標名	単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
対象指標 1	施設数	箇所	5	5	5	5
対象指標2						

手段(事務事業の内容、手法)

団地集会所の維持・管理

	指標名	単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
活動指標 1	利用可能日数	日	307	308	308	309
活動指標2						

意図(この事業によって対象をどのような状態にしたいのか)

集会所利用者が安心して利用できる。

	指標名	単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
成果指標 1	集会所使用件数	件	104	87	170	150
成果指標2						

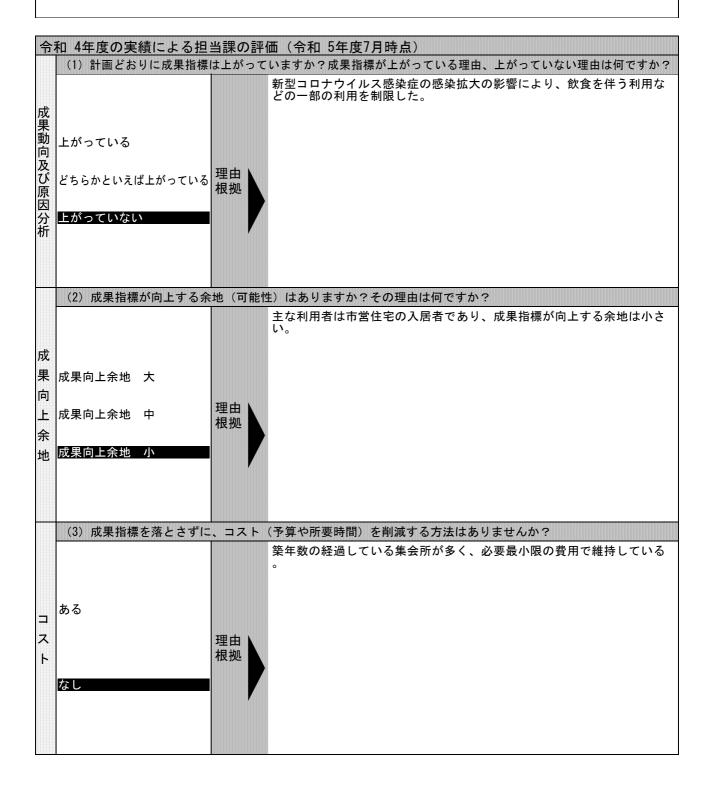
事業費の推移	単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
事 業 費 (A)	千円	2, 693	2, 782	2, 698	2, 791
正職員人件費(B)	千円	763	761	760	768
総 事 業 費 (A+B)	千円	3, 456	3, 543	3, 458	3, 559

	事業内容(主なもの)	費用内訳(主なもの)
4年度	団地集会所の維持管理	集会所管理人報酬 1,800千円集会所燃料費 51千円集会所光熱水費 649千円

江別市営住宅入居者の共同の福祉のために整備した集会所の適正な管理を図る。

事業を取り巻く環境変化

入居者相互の親睦の場として使用されている。 令和4年度は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により、飲食を伴う利用などの一部の使用を制限した



事業名: 市営住宅管理経費

【事業番号

5140]

建築住宅課 住宅係

政 策 05	都市基盤	戦略
取組の 基本方針 01	市街地整備の推進	具体的施策
開始年度	— 終了年度 —	区分1 継続 区分2 単独 補助金

事務事業の目的と成果及び指標

対象(誰、何に対して事業を行うのか)

市営住宅入居者

	指標名	単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
対象指標 1	市営住宅入居戸数	戸	919	908	886	1, 000
対象指標2	市営住宅入居者数	人	1, 735	1, 724	1, 664	2, 000

手段(事務事業の内容、手法)

市営住宅の家賃決定、入居者募集、選考及び決定、家賃及び敷金の徴収、徴収猶予及び減免、模様替え等の承認、明け渡し請求などの処分、入居相談、世帯人数と住戸規模のミスマッチ解消の実施。施設の維持保全及び一般修繕。

	指標名	単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
活動指標 1	維持修繕受付件数	件	592	580	581	550
活動指標 2						

意図(この事業によって対象をどのような状態にしたいのか)

市営住宅が適切に管理され、入居者が快適に生活できる(政策空家を除く)。

	指標名	単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
成果指標 1 入	人居率	%	77. 4	75. 2	73. 2	84
成果指標2						

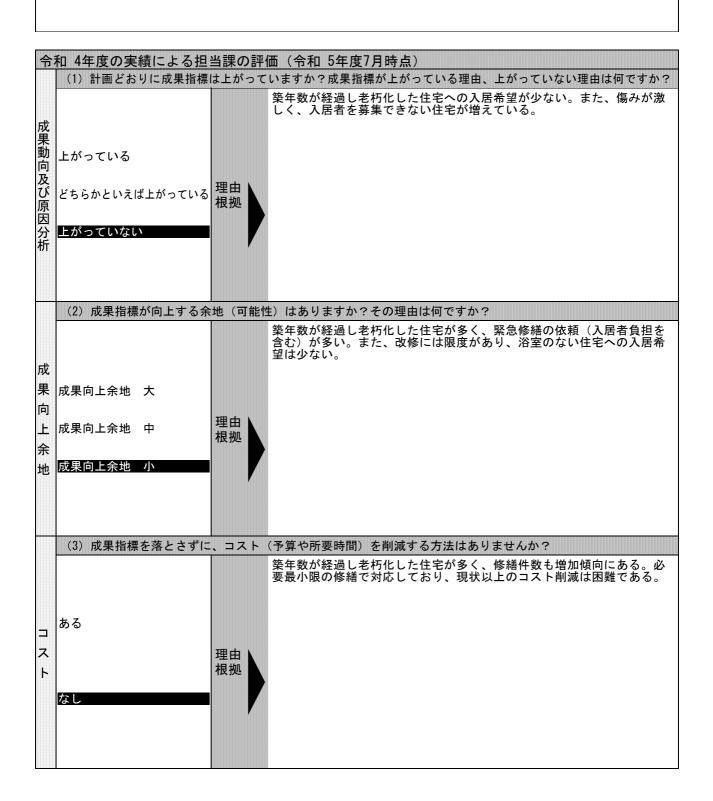
事業費の推移	単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
事 業 費 (A)	千円	51, 791	53, 819	54, 524	58, 320
正職員人件費(B)	千円	12, 969	13, 693	13, 687	13, 829
総 事 業 費 (A+B)	千円	64, 760	67, 512	68, 211	72, 149

	事業内容(主なもの)	費用内訳(主なもの)
4年度	・住宅の小規模修繕 ・住宅設備の保守点検 ・家賃の決定及び徴収・滞納整理	・住宅の修繕費 19,371千円 ・保守点検等の委託料 15,784千円

住宅に困窮する低所得者に対して低廉な家賃で賃貸することにより、生活の安定と社会福祉の増進に寄与することを目的として整備した市営住宅の適正な管理を図る。

事業を取り巻く環境変化

老朽化した住宅が多く、適正な維持管理を図る必要がある。



事業名: 弥生団地大規模改善事業

【事業番号 6176】

建築住宅課 住宅係

政 策 05 都市基盤	戦略
取組の 基本方針 01 市街地整備の推進	具体的施策
開始年度 平成25年度 終了年度 —	区分1 継続 区分2 補助 補助金

事務事業の目的と成果及び指標

対象(誰、何に対して事業を行うのか)

市営住宅 (弥生団地)

	指標名	単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
対象指標 1	市営住宅管理戸数	戸	223	223	223	223
対象指標2						

手段(事務事業の内容、手法)

市営住宅長寿命化計画に基づき、弥生団地の大規模改善工事を計画的に実施する。

	指標名	単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
活動指標 1	外部改修戸数	戸	24	24	55	0
活動指標 2	設備改修戸数	戸	0	48	24	55

意図(この事業によって対象をどのような状態にしたいのか)

弥生団地の大規模改善工事を計画的に実施することにより、入居者が安全に安心して暮らせる市営住宅を供給する。

	指標名	単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
成果指標 1	団地改善率(改修戸数/延べ改修戸数)	%	58. 9	73. 3	89	100
成果指標2						

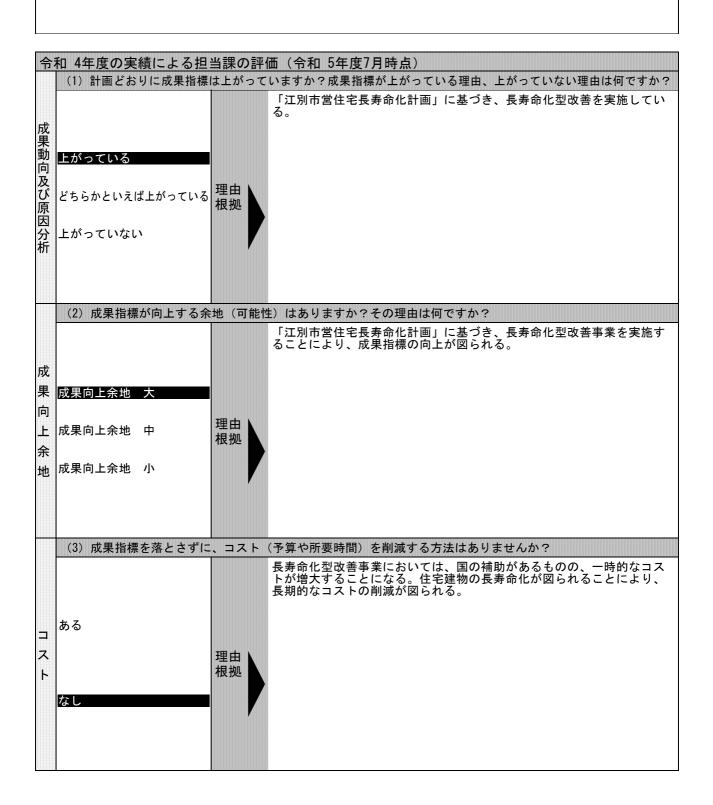
事業費の推移	単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
事 業 費 (A)	千円	92, 253	164, 241	166, 689	113, 530
正職員人件費(B)	千円	763	761	760	7, 683
総 事 業 費 (A+B)	千円	93, 016	165, 002	167, 449	121, 213

	事業内容(主なもの)	費用内訳(主なもの)
4年度	・弥生団地G棟給水設備改修工事・弥生団地H棟外部等改修工事・弥生団地H棟エレベーター改修実施設計委託	・弥生団地G棟給水設備改修工事 32,995千円 ・弥生団地H棟外部等改修工事 132,484千円 (R3繰越し) ・弥生団地H棟エレベーター改修実施設計委託 1,21 0千円 (R3繰越し)

良質な市営住宅の供給を図るため、「江別市営住宅長寿命化計画」を策定し、市営住宅の長寿命化を図ることとした。

事業を取り巻く環境変化

計画通りに市営住宅の長寿命化型改善事業を実施している。



事業名:道路景観づくり推進事業

【事業番号

260]

土木事務所道路管理課 管理係

政 策 05	都市基盤	戦略
取組の 基本方針 02	交通環境の充実	具体的施策
開始年度	— 終了年度 —	区分1 継続 区分2 単独 補助金

事務事業の目的と成果及び指標

対象(誰、何に対して事業を行うのか)

- ・市内の道路 ・違反広告物

	指標名	単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
対象指標 1	市内の国道・道道・市道実延長	km	864	864	865	866
対象指標2						

手段(事務事業の内容、手法)

- ・北海道屋外広告物条例に違反するはり紙、はり札及び立看板を除却する。

- ・広告主への除却指導(年数回) ・違反広告物の除却(年数回) ・石狩振興局へ除却数を報告(年2回)

	指標名	単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
活動指標 1	広告主への指導件数	件	2	9	6	5
活動指標 2						

意図(この事業によって対象をどのような状態にしたいのか)

道路の美観風致の維持、整然とした街並みとすることにより違反広告物を放置しづらくなる。

	指標名	単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
成果指標 1	違反広告物の除却数	枚	84	137	32	80
成果指標2						

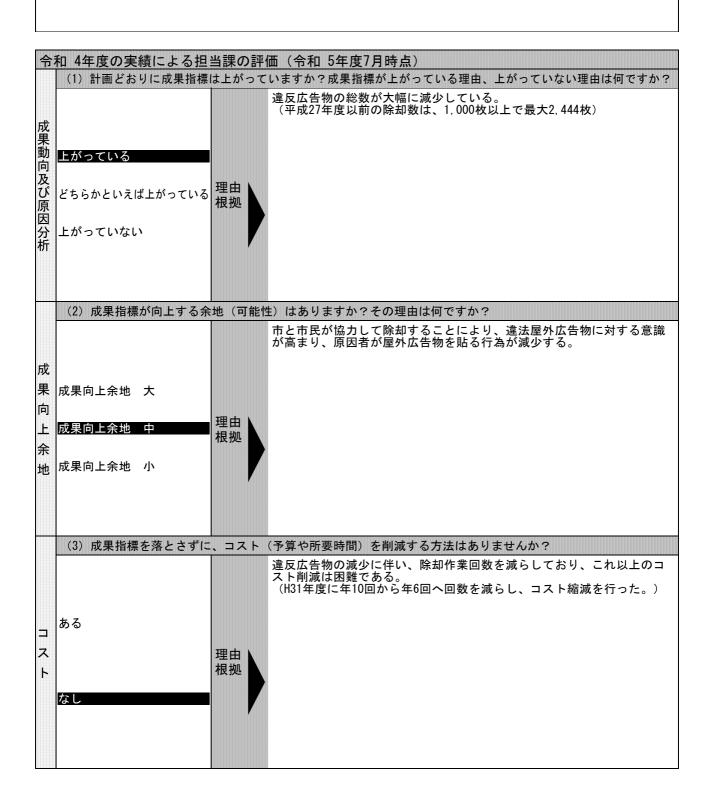
事業費の推移	単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
事業費(A)	千円	499	462	484	238
正職員人件費(B)	千円	1, 526	1, 521	1, 521	1, 537
総 事 業 費 (A+B)	千円	2, 025	1, 983	2, 005	1, 775

	事業内容(主なもの)	費用内訳(主なもの)
4年度	・広告主への除却指導 ・違反広告物の除却 ・石狩振興局へ除却枚数を報告	・軍手等の消耗品費 3千円 ・広告調査、除却委託経費 481千円

平成17年4月1日より、権限委譲により屋外広告物法に基づく事務を委任されたことからこの事業を開始している。

事業を取り巻く環境変化

道路の美観風致を維持するとともに、公衆に対する危害の防止を目的とした。現在、道からの交付金を基に事業を 実施している。



【事業番号

270]

事業名:大麻市営駐車場管理経費

土木事務所道路管理課 管理係

政策	05	都市基盤	戦略
取 組 の 基本方針	02	交通環境の充実	具体的施策
開始年度		— 終了年度 —	区分1 継続 区分2 単独 補助金

事務事業の目的と成果及び指標

対象(誰、何に対して事業を行うのか)

大麻市営駐車場

	指標名	単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
対象指標 1	施設数	施設	1	1	1	1
対象指標2						

手段(事務事業の内容、手法)

指定管理者制度を活用し、施設利用者へのサービス向上及び施設管理運営の効率化を図る。

	指標名	単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
活動指標 1	指定管理料	千円	10, 434	10, 434	11, 969	12, 261
活動指標2						

意図(この事業によって対象をどのような状態にしたいのか)

低廉な料金で駐車できる駐車場を確保することにより、駅周辺の路上駐車の削減を図る。 (令和3年度より成果指標2を変更)

	指標名	単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
成果指標 1	年間延べ利用台数	台	27, 389	33, 609	40, 827	40, 000
成果指標2	不具合件数(苦情・要望件数)	件	0	8	7	5

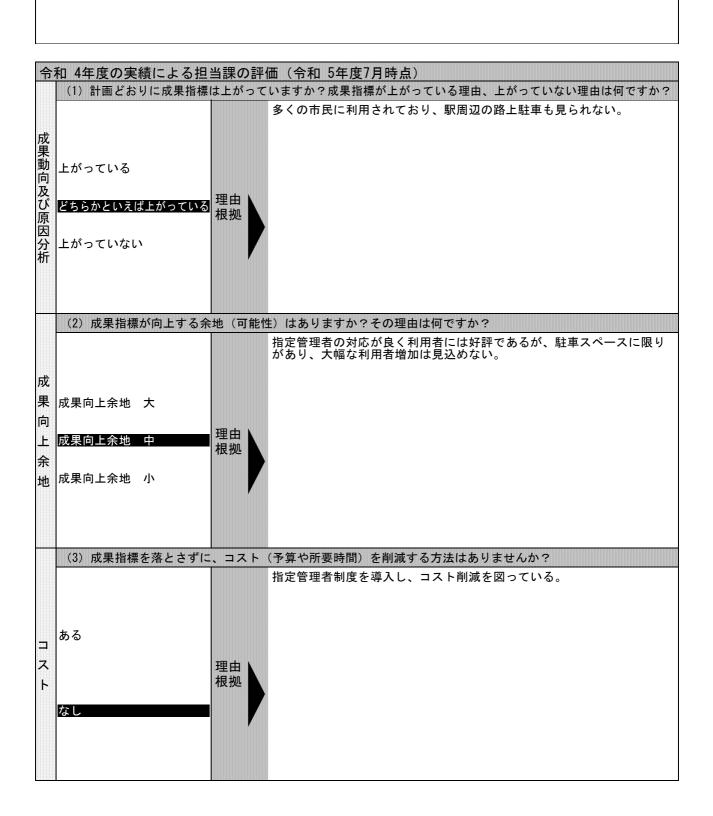
事業費の推移	単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
事 業 費 (A)	千円	11, 772	10, 434	11, 969	12, 261
正職員人件費(B)	千円	2, 289	2, 282	2, 281	2, 305
総 事 業 費 (A+B)	千円	14, 061	12, 716	14, 250	14, 566

	事業内容(主なもの)	費用内訳(主なもの)
	市営駐車場の運営管理を指定管理者に委託する。	·指定管理料 11,969千円
4年度		

昭和46年5月12日に新住宅市街地開発法に基づき譲与された駐車場を昭和46年7月15日より利用開始する。昭和53年6月20日に駐車場条例が制定される。その後昭和56年6月30日より有料化の開始。

事業を取り巻く環境変化

平成18年度より指定管理者制度導入



【事業番号

277]

事業名:除排雪事業

土木事務所雪対策課

政 策 05 都市基盤	戦略
取組の 基本方針 02 交通環境の充実	具体的施策
開始年度 — 終了年度 —	区分1 継続 区分2 補助 補助金

事務事業の目的と成果及び指標

対象(誰、何に対して事業を行うのか)

公共除排雪対象の市道及び公共施設等

	指標名	単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
対象指標 1	市道総延長	km	837	837	838	838
対象指標2						

手段 (事務事業の内容、手法)

ほぼ連続した降雪により、降り始めからの降雪量10㎝を目安として、除雪作業を要すると認められる状況であるほか、断続的な降雪や吹き溜まり等で、交通障害が予想される場合に除雪作業を実施する。 また、道路幅員の狭窄、路肩の雪堤状況等諸条件から総合的に判断し、運搬排雪作業を行う。 自治会が主体で実する排雪作業に対し、ロータリ除雪車(車輌のみ)とダンプトラック(車輌と運転手)を貸与し

、排雪作業支援を行う。

	指標名	単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
活動指標 1	除雪延長	km	735	737	739	737
活動指標 2	自治会排雪延長	km	349	349	350	349

意図(この事業によって対象をどのような状態にしたいのか)

冬期間の円滑な道路交通網を確保する。

	指標名	単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
成果指標1	降雪・吹雪による交通止めとなった箇所数	箇所	0	2	1	0
成果指標2	実施自治会数	自治会	104	104	105	104

事業費の推移	単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
事業費(A)	千円	1, 181, 548	1, 787, 237	1, 472, 253	1, 578, 076
正職員人件費(B)	千円	28, 227	28, 146	27, 755	28, 043
総 事 業 費 (A+B)	千円	1, 209, 775	1, 815, 383	1, 500, 008	1, 606, 119

	事業内容(主なもの)	費用内訳(主なもの)				
	・除排雪業務	• 除排雪業務	1, 110, 648千円			
4年度	・自治会排雪に係る作業車両の支援	・自治会排雪に係る作業	車両の支援 260,370千円			

事業開始背景 冬期間の安全で円滑な道路交通の確保を目的に事業を開始した。 事業を取り巻く環境変化 令和 4年度の実績による担当課の評価(令和 5年度7月時点) (1) 計画どおりに成果指標は上がっていますか?成果指標が上がっている理由、上がっていない理由は何ですか? 本事業により冬期間の市内交通ネットワークが確保されているほか、生 活道路の排雪支援も着実に実施されているため。 成果動向及び原因分析 上がっている 理由 どちらかといえば上がっている 根拠 上がっていない (2) 成果指標が向上する余地(可能性)はありますか?その理由は何ですか? 新規宅造区域への自治会排雪の導入余地があるため。 成 果 成果向上余地 大 向 理由 成果向上余地 中 £ 根拠 余 成果向上余地 小 地 (3) 成果指標を落とさずに、コスト (予算や所要時間) を削減する方法はありませんか? 冬期間の市民生活を支える最も基礎的な事業であり、今後とも現状の除 排雪体制の維持が重要であるため。 ある ス 理由 根拠 なし

【事業番号

278]

事業名:私道除雪補助金

土木事務所雪対策課

政 策 05 都市基盤	戦略
取組の 基本方針 02 交通環境の充実	具体的施策
開始年度 — 終了年度	— 区分1 継続 区分2 単独 補助金 事業補助

事務事業の目的と成果及び指標

対象(誰、何に対して事業を行うのか)

一般通行の用に供する私道

	指標名	単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
対象指標 1	私道除雪申請延長	km	1. 52	1. 31	1. 31	1. 31
対象指標2						

手段(事務事業の内容、手法)

自治会が行う私道除雪について、市が算定する補助基準額の2分の1以内の額を自治会に補助する。

	指標名	単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
活動指標 1	補助金額	千円	1, 026	933	1, 011	1, 287
活動指標 2						

意図(この事業によって対象をどのような状態にしたいのか)

私道における冬期間の交通確保を図る。

指標名		単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
成果指標 1	私道除雪延長	km	1. 52	1. 31	1. 31	1. 31
成果指標2						

事業費の推移	単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
事 業 費 (A)	千円	1, 026	933	1, 012	1, 287
正職員人件費(B)	千円	381	380	380	384
総 事 業 費 (A+B)	千円	1, 407	1, 313	1, 392	1, 671

	事業内容(主なもの)	費用内訳(主なもの)
	・私道除雪補助金 9 自治会 L=1.31km	· 私道除雪補助金 1,011千円
4年度		

事業開始背景 一般の利用に供されている私道について、冬期間の道路交通の確保を目的として事業を開始した。 事業を取り巻く環境変化 周辺環境の変化等により、申請延長が増減する場合がある。 令和 4年度の実績による担当課の評価(令和 5年度7月時点) (1) 計画どおりに成果指標は上がっていますか?成果指標が上がっている理由、上がっていない理由は何ですか? 自治会からの申請された延長を完遂しているため。 成果動向及び原因分析 上がっている 理由 どちらかといえば上がっている 根拠 上がっていない (2) 成果指標が向上する余地(可能性)はありますか?その理由は何ですか? すでに必要とされている自治会に浸透しているため。 成 成果向上余地 大 向 理由 上 成果向上余地 中 根拠 余 成果向上余地 小 地 (3) 成果指標を落とさずに、コスト (予算や所要時間) を削減する方法はありませんか? 制度上、既にコストを最低限とする内容であるため。 ある 3 ス 理由 根拠 ۲ なし

【事業番号 747】

事業名: 不法投棄対策事業(市道)

土木事務所道路管理課 維持係

政策	05 都市基盤			戦略				
取 組 の 基本方針	02 交通環境の	充実		具体的施策	7II7			
開始年度	平成17年度	終了年度		区分1	継続	区分2	単独	補助金
事務事業	の目的と成果	及び指標						
対象(誰	、何に対して	事業を行う	のか)					
市道								

	指標名	単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
対象指標 1	市道総延長	km	837	837	838	838
対象指標2						

手段(事務事業の内容、手法)

市道に不法投棄された廃棄物について、巡回のうえ回収・処理する。

	指標名	単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
活動指標 1	巡回回数		12	12	12	12
活動指標2						

意図(この事業によって対象をどのような状態にしたいのか)

不法投棄物を処理することにより、道路の機能及び景観を維持するとともに、更なる不法投棄発生を抑制する。

指標名		単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
成果指標 1	不法投棄物延べ処理件数	件	295	201	168	300
成果指標2						

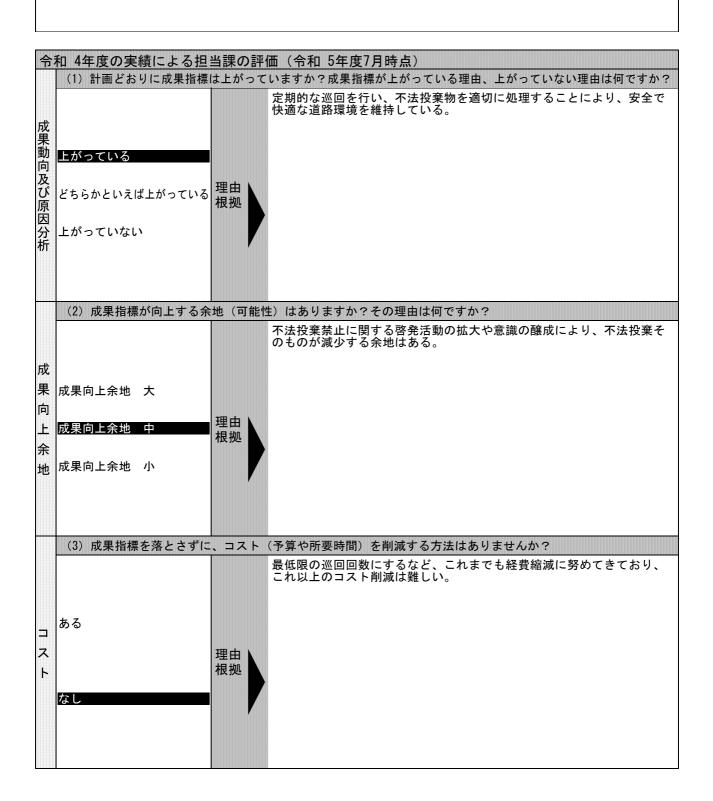
事業費の推移	単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
事 業 費 (A)	千円	4, 400	4, 400	4, 247	4, 576
正職員人件費(B)	千円	381	380	1, 141	1, 152
総 事 業 費 (A+B)	千円	4, 781	4, 780	5, 388	5, 728

	事業内容(主なもの)	費用内訳(主なもの)	
	不法投棄された廃棄物について、巡回のうえ回収・処理を実施。	· 委託費 4,247千円	
4年度			

市の家庭系ごみの収集が平成16年10月より原則有料となり、不法投棄が増加すると予想されたことから、その対策 として実施してきたもの。

事業を取り巻く環境変化

家庭系ごみの有料化や家電製品等のリサイクル料金の発生など不法投棄の誘因が増加している。



事業名: 道路橋梁管理経費(臨時)

【事業番号 3

3024]

土木事務所道路管理課 維持係

政策	05	都市基盤	戦略
取組の 基本方針	02	交通環境の充実	具体的施策
開始年度		— 終了年度 —	区分1 継続 区分2 単独 補助金

事務事業の目的と成果及び指標

対象(誰、何に対して事業を行うのか)

市道

	指標名	単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
対象指標 1	市道総延長	km	837	837	838	838
対象指標2						

手段(事務事業の内容、手法)

老朽化した道路施設の改修や再整備工事

	指標名	単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
活動指標 1	実施延長	km	3. 4	3. 3	4. 2	3. 5
活動指標2						

意図(この事業によって対象をどのような状態にしたいのか)

道路施設を常に良好な状態に保ち道路の走行性及び安全性を確保し、道路利用者が安心して通行できる道路環境を維持する。

	指標名	単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
成果指標 1	不具合件数(市民からの苦情・要望件数)	件	732	726	935	700
成果指標2						

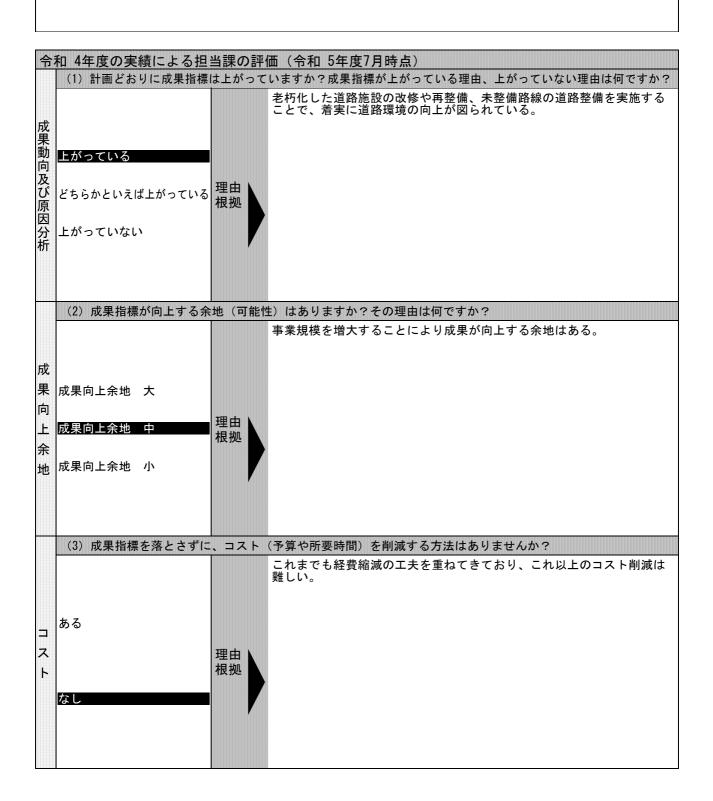
事業費の推移	単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
事 業 費 (A)	千円	363, 556	468, 753	482, 901	564, 468
正職員人件費(B)	千円	13, 732	15, 214	15, 968	16, 134
総 事 業 費 (A+B)	千円	377, 288	483, 967	498, 869	580, 602

	事業内容(主なもの)	費」	用内訳(主なもの)
4年度	·工事路線現況測量 ·路面凍上改修工事 ·道路再整備工事 ·農村地区舗装新設工事		997千円 919千円

老朽化が進行している道路施設の改修や再整備、未整備路線の道路整備などを行うために事業を開始した。

事業を取り巻く環境変化

近年、車社会の進展により、道路の安全に対する市民の関心が高まっており、老朽化した道路施設の改修や再整備、更新が強く望まれている。



事業名:道路橋梁管理経費(経常)

【事業番号

3025]

土木事務所道路管理課 維持係

政 策 05 都市基盤	戦略
取組の 基本方針 02 交通環境の充実	具体的施策
開始年度 — 終了年度	— 区分1 継続 区分2 単独 補助金

事務事業の目的と成果及び指標

対象(誰、何に対して事業を行うのか)

市道

	指標名	単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
対象指標 1	市道総延長	km	837	837	838	838
対象指標2						

手段(事務事業の内容、手法)

道路施設の維持及び損傷箇所の補修や復旧対応

	指標名	単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
活動指標 1	市道管理延長	km	837	837	838	838
活動指標2						

意図(この事業によって対象をどのような状態にしたいのか)

道路施設を常に良好な状態に保ち、道路の走行性及び安全性を確保し、道路利用者が安心して通行できる道路環境を維持する。

	指標名	単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
成果指標 1	不具合件数(市民からの苦情・要望件数)	件	732	726	935	700
成果指標2						

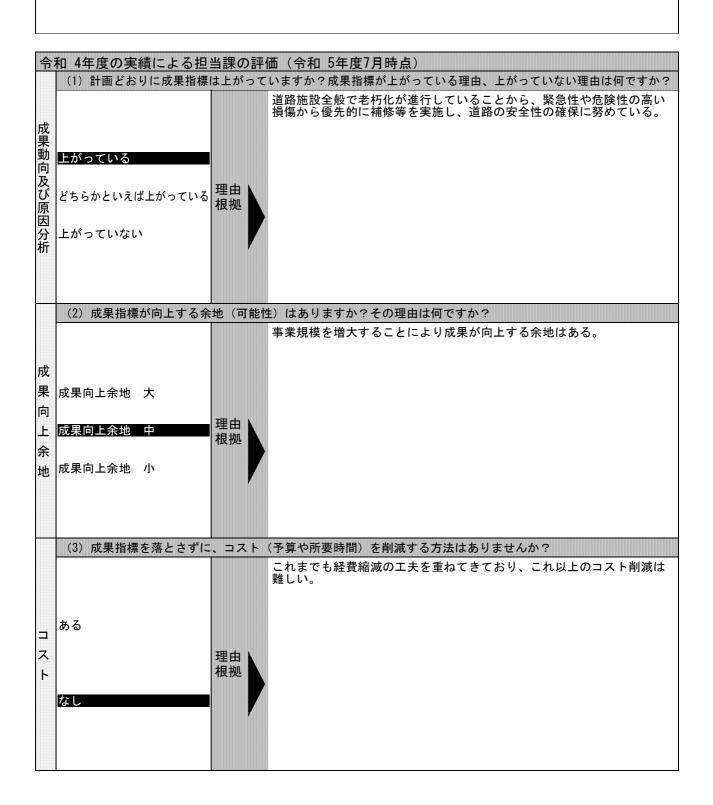
事業費の推移	単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
事業費(A)	千円	149, 977	152, 999	155, 994	162, 000
正職員人件費(B)	千円	8, 392	8, 368	9, 125	9, 220
総 事 業 費 (A+B)	千円	158, 369	161, 367	165, 119	171, 220

	事業内容(主なもの)		費用内訳(主なもの)	
4年度	・路面清掃業務・幹線道路草刈業務・道路維持管理業務・舗装補修工事・補充用砂利、舗装補修用常温合材の購入	委託費 工事費 原材料費	81, 996千円 68, 999千円 4, 999千円	

安全な道路環境を維持するため、パトロールや清掃、損傷箇所の補修を行う必要があることから事業を開始した。

事業を取り巻く環境変化

老朽化が進行した道路施設の補修や修繕の要望が増加している。



事業名:ロードヒーティング管理経費

【事業番号 47

4723]

土木事務所道路管理課 維持係

政策	05 都市基盤	戦略
取 組 の 基本方針	02 交通環境の充実	具体的施策
開始年度	— 終了年度 —	区分1 継続 区分2 単独 補助金

事務事業の目的と成果及び指標

対象(誰、何に対して事業を行うのか)

路面融雪施設

指標名	単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
対象指標 1 ロードヒーティング延長	m	1, 416. 6	1, 388. 2	1, 388. 2	1, 388. 2
対象指標2 ロードヒーティング面積	m [*]	7, 812. 8	7, 651. 7	7, 651. 7	7, 651. 7

手段(事務事業の内容、手法)

冬期間において巡回、点検を実施し、正常に作動しているかの確認を行う。 更新計画を策定し老朽化した施設の更新を図り、効率的な運用を目指す。

	指標名	単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
活動指標 1	巡回・点検回数	回	16	16	16	16
活動指標 2						

意図(この事業によって対象をどのような状態にしたいのか)

ロードヒーティングの適切な維持管理により冬期間の安全で円滑な交通を確保する。

	指標名	単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
成果指標 1	不具合件数 (点検結果)	件	5	4	4	0
成果指標2						

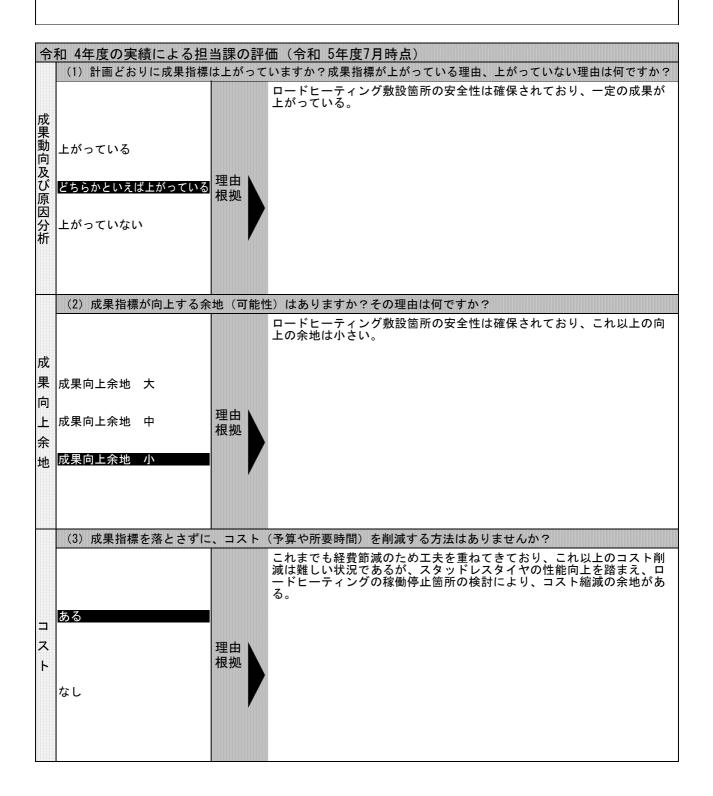
事業費の推移	単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
事 業 費 (A)	千円	40, 644	40, 127	50, 574	51, 004
正職員人件費(B)	千円	763	761	1, 521	1, 537
総 事 業 費 (A+B)	千円	41, 407	40, 888	52, 095	52, 541

	事業内容(主なもの)	費用内訳(主なもの)
4年度	· 光熱水費 · 施設等修繕 · 点検業務	光熱水費 48,560千円 施設等修繕費 1,200千円 委託費 780千円

平成3年度からのスパイクタイヤ使用禁止に伴い、道路勾配の急な交差点における交通安全の確保のため事業が開始された。

事業を取り巻く環境変化

スタッドレスタイヤの性能向上に伴い、電気料金節減のため緩勾配箇所などでロードヒーティングを稼働しない自治体が出てきている。 ロシアのウクライナ侵攻などを背景として生じている世界的な燃料価格の高騰により、電気料金の値上げが続いている。



事業名:橋梁長寿命化事業

【事業番号

6150]

土木事務所道路管理課 維持係

政策 0	5 都市基盤			戦略					
取組の 基本方針	2 交通環境の	充実		具体的施策	臣				
開始年度	平成26年度	終了年度	_	区分1	継続	区分2	補助	補助金	

事務事業の目的と成果及び指標

対象(誰、何に対して事業を行うのか)

市道の橋梁

		1	1			
	指標名	単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
対象指標 1	橋梁(市道)	橋	147	147	147	147
対象指標2	修繕が必要な橋梁数	橋	38	38	38	38

手段(事務事業の内容、手法)

- ・江別市橋梁長寿命化修繕計画(平成25年2月19日策定)に基づき修繕工事を実施する。 ・各橋梁について、5年に一度の近接目視による点検を実施する。 ・道路メンテナンス事業補助制度を活用し実施する。(補助率6/10) (令和3年度より活動指標2を追加)

	指標名	単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
活動指標 1	当該年度修繕対象橋梁数(完了)	橋	2	8	7	1
活動指標 2	橋梁点検数	橋	0	21	0	0

意図(この事業によって対象をどのような状態にしたいのか)

計画的な予防修繕により、橋梁の延命化(長寿命化)を図ることで修繕費等を縮減する。

	指標名	単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
成果指標 1	修繕工事が完了した橋梁の割合	%	42. 1	63. 2	81.6	84. 2
成果指標2						

事業費の推移	単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
事 業 費 (A)	千円	200, 863	181, 303	204, 990	179, 000
正職員人件費(B)	千円	7, 629	9, 128	9, 885	9, 988
総 事 業 費 (A+B)	千円	208, 492	190, 431	214, 875	188, 988

	事業内容(主なもの)	費用内訳(主なもの)
4年度	・橋梁修繕工事実施設計 ・橋梁修繕工事 (令和3年度補正予算の繰越分を含めて令和4年度に 実施)	(R4当初) 委託費 29,084千円 工事費 105,906千円 (R3補正繰越) 工事費 70,000千円

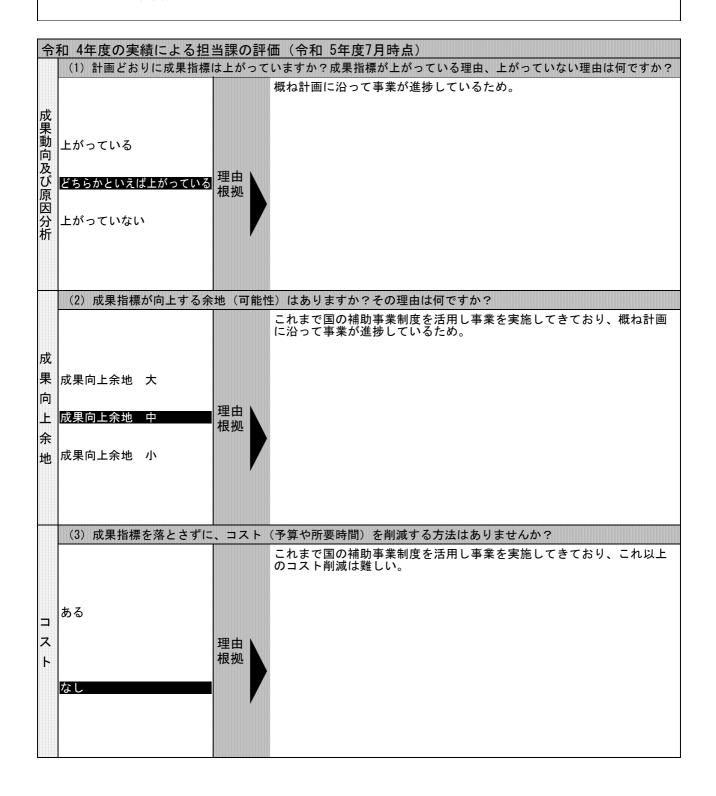
江別市が管理する橋梁147橋のうち、江別市が大きく発展した1970年~1990年代に建設された橋梁が129橋で全体の80%以上を占めており、20年後には建設後50年を経過する橋梁の割合が50%を超え、老朽化した橋梁の急速な増大が予想される。

このため老朽化対策やコスト縮減への取組みとして江別市橋梁長寿命化修繕計画を策定し、計画的な修繕に着手 することとした。

事業を取り巻く環境変化

- 長寿命化修繕計画策定事業費補助制度要綱(平成19年4月2日国土交通省施行)

- ・技寿印化修福計画泉足事業賃補助制度安綱(平成「9年4月2日国工文通程施行) ・市町村を対象とした長寿命化修繕計画策定費の支援は、平成19年度~平成25年度 ・当該計画に基づく修繕工事は、国の補助事業導入が可能となる。 ・道路法施力技製の一部改正に基づき実施した橋梁点検結果を踏まえ、令和5年度までに修繕が必要な橋梁数を4 6橋から38橋に変更。



事業名: 道路施設再整備事業

【事業番号 6152]

土木事務所道路管理課 維持係

政策	05 都市基盤			戦略					
取 組 の 基本方針	02 交通環境の	充実		具体的施筑					
開始年度	平成26年度	終了年度	_	区分1	継続	区分2	補助	補助金	

事務事業の目的と成果及び指標

対象(誰、何に対して事業を行うのか)

道路施設全般

	指標名	単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
対象指標 1	道路施設数	箇所	212	212	212	212
対象指標2	対象道路延長	k m	247	247	247	247

手段(事務事業の内容、手法)

舗装や擁壁などの道路施設全般について、点検や調査を行い、損傷度などを踏まえ改修や修繕を実施する。 社会資本整備総合交付金を活用し実施する。(補助金6/10)

	指標名	単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
活動指標 1	道路施設点検件数	箇所	2	0	0	0
活動指標 2	道路路面調査延長	k m	247	0	0	0

意図(この事業によって対象をどのような状態にしたいのか)

老朽化が進行する道路施設全般について、点検や調査を行い、損傷度などを踏まえ改修や修繕を実施することにより、 道路利用者や第三者への被害を防止する。

	指標名	単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
成果指標 1	改修、修繕箇所数	箇所	0	2	0	1
成果指標2	改修、修繕延長	k m	1.5	0. 9	2. 1	1. 9

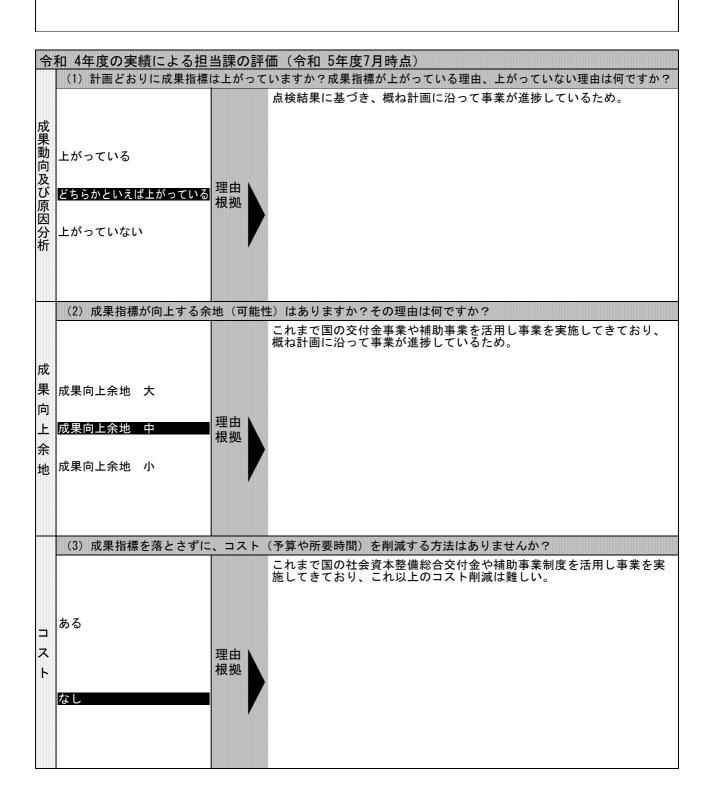
事業費の推移	単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
事 業 費 (A)	千円	129, 803	150, 916	197, 673	208, 500
正職員人件費(B)	千円	7, 629	6, 086	6, 844	6, 915
総 事 業 費 (A+B)	千円	137, 432	157, 002	204, 517	215, 415

	事業内容(主なもの)	費用内訳(主なもの)
4年度	・ロードヒーティング修繕工事実施設計 ・舗装修繕工事 (令和3年度補正予算の繰越分を含めて令和4年度に 実施)	(R4当初) 委託費 8,019千円 工事費 39,654千円 (R3補正繰越) 工事費 150,000千円

道路ストック点検等の法定点検が義務化され、その点検結果を踏まえた修繕や更新を実施するため事業が開始された。

事業を取り巻く環境変化

道路施設全般について老朽化が進行し、対象となる道路施設や路線が増加する傾向にある。



事業名: 道路橋梁再整備事業

【事業番号

6173]

都市建設課 道路整備係

政 策 05 都市基盤	戦略
取組の 基本方針 02 交通環境の充実	具体的施策
開始年度 平成27年度 終了年度 —	区分1 継続 区分2 補助 補助金

事務事業の目的と成果及び指標

対象(誰、何に対して事業を行うのか)

市が管理する道路のうち再整備が必要な幹線道路等

	指標名	単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
対象指標1	事業路線の全体整備延長	k m	1. 67	1. 55	0. 45	0. 65
対象指標2	事業路線数	路線	3	3	1	1

手段(事務事業の内容、手法)

- ・経年劣化などにより損傷した路線について、道路改良や舗装新設などの必要な再整備を実施する ・社会資本整備総合交付金を活用し実施する(補助率6/10)

	指標名	単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
活動指標 1	当該年度の工事延長	k m	0. 88	0. 54	0. 25	0. 23
活動指標 2	当該年度の実施路線数	路線	3	3	1	1

意図(この事業によって対象をどのような状態にしたいのか)

・損傷した路線の再整備を行い、車両や歩行者の安全で快適な道路環境を確保する

	指標名	単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
成果指標 1	事業路線のうち整備済みの道路延長	k m	1. 49	0. 81	0. 45	0. 39
成果指標2	事業路線のうち整備が完了した路線数	路線	2	1	1	0

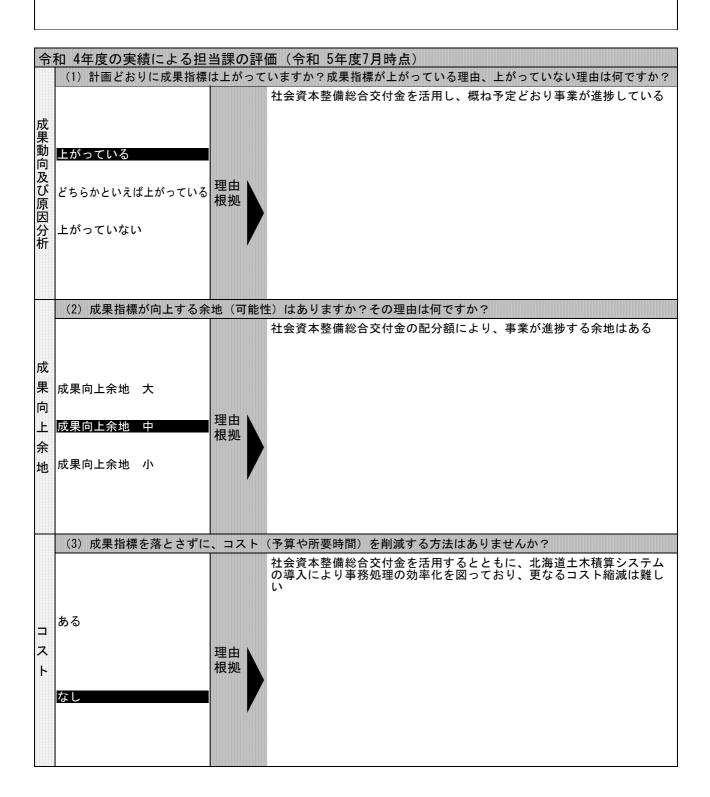
事業費の推移	単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
事 業 費 (A)	千円	121, 644	84, 751	33, 077	40, 000
正職員人件費(B)	千円	8, 392	8, 368	6, 083	2, 305
総 事 業 費 (A+B)	千円	130, 036	93, 119	39, 160	42, 305

	事業内容(主なもの)	費用内訳(主なもの)	
	· 東野幌本町 2 3 号道路改修工事	· 東野幌本町 2 3 号道路改修工事 32,890千円	
4年度			

中心市街地と住宅地を連結する重要な幹線道路において、冬期間の凍上や老朽化等により悪化した路面状況が、車両等の通行に支障となっていることから、安全・快適な通行環境を確保する取り組みとして再整備事業に着手する こととなった

事業を取り巻く環境変化

・路面性状調査等の結果により、国の補助事業導入が可能な場合がある



事業名: 道路橋梁新設改築事業

【事業番号

6211]

都市建設課 道路整備係

政策	05 都市基盤		単	战 略					
取 組 の 基本方針	02 交通環境の)充実	具体	本的施策					
開始年度	平成28年度	終了年度	_ 区	分1	継続	区分2	補助	補助金	

事務事業の目的と成果及び指標

対象(誰、何に対して事業を行うのか)

市が管理する道路のうち整備が必要な幹線道路等

指標名		単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
対象指標 1	事業路線の全体整備延長	k m	2. 84	2. 84	3. 85	4. 15
対象指標2	事業路線数	路線	4	4	5	6

手段(事務事業の内容、手法)

- ・幹線道路等について、新設のほか拡幅や歩道造成などの必要な整備を行う ・社会資本整備総合交付金を活用し実施する(補助率6/10、新設は5/10)

指標名		単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
活動指標 1	当該年度の工事延長	k m	0	0. 66	0. 54	0. 85
活動指標 2	当該年度の実施路線数	路線	4	4	5	6

意図(この事業によって対象をどのような状態にしたいのか)

・幹線道路等の必要な整備を行い、車両や歩行者の安全で快適な道路環境を確保する

指標名		単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
成果指標1	事業路線のうち整備済みの道路延長	k m	0	0. 66	1. 2	2. 05
成果指標2	事業路線のうち整備が完了した路線数	路線	0	0	0	1

事業費の推移	単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
事 業 費 (A)	千円	120, 937	338, 539	308, 903	357, 224
正職員人件費(B)	千円	12, 206	12, 171	14, 448	14, 598
総 事 業 費 (A+B)	千円	133, 143	350, 710	323, 351	371, 822

	事業内容(主なもの)	費用内訳(主なもの)	
4年度	・元江別66号道路整備工事	・元江別66号道路整備工事	66, 737千円
	・兵村4丁目通り整備工事	・兵村4丁目通り整備工事	93, 764千円
	・元江別中央通り整備工事	・元江別中央通り整備工事	88, 759千円
	・兵村12丁目通り実施設計委託等	・兵村12丁目通り実施設計委託等	11, 627千円

市内を東西に走る生活幹線道路(通称、百間境道路)については、総延長が約10kmあり、幹線道路を補う重要な路線として位置づけされて整備が進められてきたが、近年は用地や財源の問題などにより、3路線約0.9kmが未整備のまま残されており、地元自治会からは早期の整備要望が寄せられていた。

平成28年3月、野幌住吉町内の私道路について寄付採納により市道となったことで、元野幌274号道路については、補助事業での整備が可能となり事業着手することとなった

事業を取り巻く環境変化

4月 平成26年

平成26年10月

元江別66号道路の整備要望が、自治会より寄せられる 元江別66号道路の整備について、沿線住民に意向調査を実施 元野幌274号道路に接続する私道路が、寄付採納により市道となり、補助事業での整備が可 平成28年 3月 能となる

